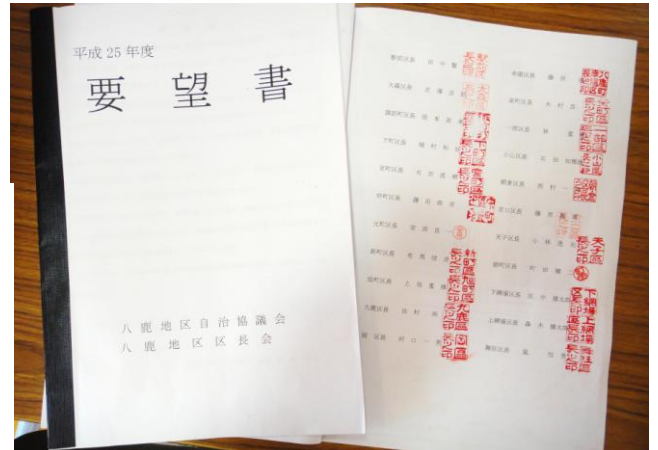


交通安全改善要望書を提出

**養父市長、養父市議会議員、
養父土木事務所長、養父警察署長**

去る 10 月 9 日(水)に八鹿小学校児童の集団下校に併せて 22 区の区長と一緒に歩き通学路の安全を確かめました。そして 11 月 6 日(水)に全区の区長が集まり、通学路の安全点検要望と市街地の逆走車に関する要望書の確認を行い、提出を三役に委ねられました。要望書は 22 区の区長印と小佐区長会長印が押されたものが各提出先ごとに用意されました。



11 月 20 日(水)午前 9 時に三役と事務局が市役所を訪れ養父市長に手渡し要望を行いました。市議会議長は不在のため事務局長に手渡しました。11 月 27 日(水)午前 9 時に養父土木事務所に行き要望書を手渡し改善の要望をしました。10 時 30 分には八鹿警察を訪れ市内の交通規制区域の逆走車の対策について要望をしました。

いずれも熱心に内容を聞かれ、前向きに検討をいただけたこととなりました。予算の必要なものも多く一度に解決はできませんが、一つ一つ解決に向けて努力していきます。

土曜ふれあい喫茶 ふれあい号が 近くを回ります

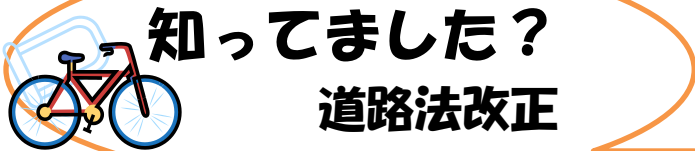


12月21日(土) クリスマス喫茶 を開催します

12 月 21 日(土)にクリスマス喫茶を開催します。マイクロバスを運行します。右の図のように巡回していきますのでご利用ください。時間が変わる場合もあります。若干の余裕をもって乗降車場所でお待ちください。帰りも同じコースで送ります。満員になったら一旦ふれあい倶楽部まで行ってから通常のコースに戻ります。ぜひご利用ください。

土曜喫茶ふれあい号運行予定図





知ってました？

道路法改正

自転車は左側の路側帯のみ走行できます

自転車は、12月1日からは、右側の路側帯や真ん中などを走っていると「逆走車」として違反になります。道路の進路左側にある路側帯のみ走行できるようになります。違反した場合3か月以下の懲役または5万円以下の罰金となります。ご注意ください！

今年も楽しく 歌声喫茶 in 酒蔵



今年も、山陰美人の酒蔵に明るい歌声が響き渡りました。11月17日(日)夜7時から第2回歌声喫茶 in 酒蔵が開催されました。

フォークデュオ吉田村の演と歌、コールはるかぜの歌声リード、ゲストのラビットクラブによる可愛く元気な踊り、約90名の参加者は、みんな思いっきり元気に歌を歌いました。温かいコーヒーや紅茶も飲み放題。リクエストによって次々と歌い30曲は歌いました。

11月26日(火) 八鹿地区人権学習会

さる平成25年11月26日(火)に八鹿地区人権学習会が行われました。毎年行っている事業で今年度は、講師に但馬教育事務所から人権教育推進員の小谷俊英先生を招き、ビデオ



「本当の空」を鑑賞しました。そのあと小谷先生から「多様性社会における人権を考えよう」と題してお話を聞きました。参加者は、身近な課題の「人権」について深く考えさせられた学習会となりました。

3月に手作り雛まつり



11月号でお知らせしたとおり3月に手作りお雛祭りを開催します。皆さんの手で作られたおひな様が場内を飾ります。吊雛、タペストリー、折り紙、蹴鞠、木彫のおひな様

等、参加条件はただ一つ「手作り」です。ぜひあなたも参加してください。八鹿地区自治協議会の主催で行いますが、近く実行委員会を立ち上げ呼びかけを行います。ご参加ください。

【事務局です】

事務局は、12月28日(土)から1月5日(日)までお休みします。1月6日(月)から通常の勤務体制になります。

八鹿を題材に研究会と報告会

第1回 11月30日(土) ひょうご景観まちづくり交流会

平成25年11月30日(土)に第1回ひょうご景観まちづくり交流会が開かれました。主催は(公財)兵庫県まちづくり技術センターです。午前中は八鹿の街並みをウォッチング。立誠舎も訪れ説明を聞きま



した。午後は山陰美人酒蔵で交流セッションです。お互いの意見を交換するグループセッションをしました。参加者は八鹿のまちなみや小路が保存されている反面、看板など説明するものがないこと等が上げられていました。地元以外からも姫路市、太子町など63名が参加しました



兵庫県立大学 12月10日(火) 空き家等調査報告会

昨年の秋に、八鹿中心部の空き家、空き店舗を調査した兵庫県立大学の環境人間学部の福島教授とゼミの学生が調査結果の報告会を八鹿公民館大会議室で行いました。参加者は約50名が参加しました。



福島教授から「統計数字から八鹿の衰退は深刻な状態だ。八鹿地区は養父市のエンジンで八鹿が良くならなければ養父市も良くならない。住んでいる方々の動き方が大切。私もおてつだいさせていただく」と話されました。その後、学生が調査の結果を報告しました。